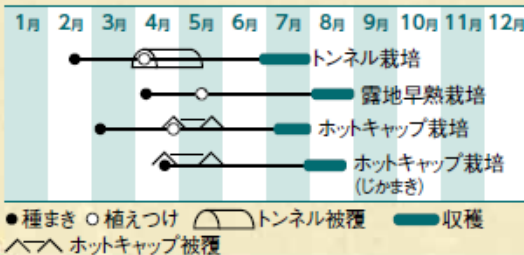




品種
・えびす
・ロロン

栽培カレンダー



カボチャ

栽培のポイント

①排水をよくしましょう

カボチャは土壌病害に強く、連作も可能です。健強性で育てやすい一方、多湿地で発生する茎や葉の病気に弱いので、排水管理を徹底しましょう。

②ホットキャップを活用しよう

植え付け後、ポリフィルムや肥料袋などで作ったホットキャップまたはあんどんをかぶせることで、保温と害虫予防ができます。簡単にできて大きな効果が得られるので、ぜひ活用しましょう。

③人工授粉は早朝に

人工授粉をすることで実どまりがよくなり、収穫日の目安も把握できます。人工授粉を成功させるコツは、早朝に行うことです。カボチャの受粉率は早朝がもっとも高いので、遅くとも朝の9時までには終わらせておきましょう。

1 苗づくり

横9cm、縦2.5cmの間隔で種を並べる。1cmくらい土をかけ、上から手などで軽く押さえておく

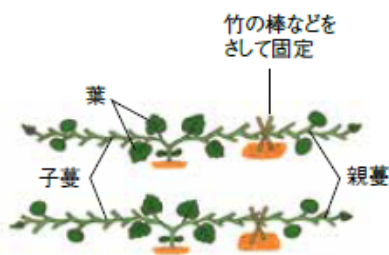


抜いてみて根が全体に回り、崩れにくくなった状態がよい。早い時期にはビニールトンネルをつくり、夜間は“こも”などをかけて保温に努める

4 整枝

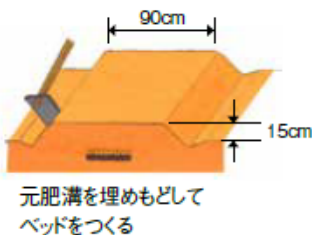
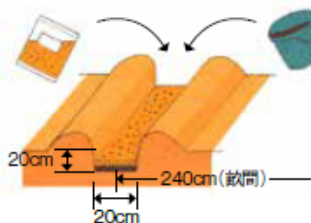
親蔓1本、子蔓1本を伸ばし、ほかの子蔓はかき取る

蔓は畝の両側へ、畝に直角に配置して込み合いを防ぐ



2 元肥入れ・畝づくり

〈畝の長さ1m当たり〉
油粕: 大さじ5杯
堆肥: 4~5握り



5 追肥

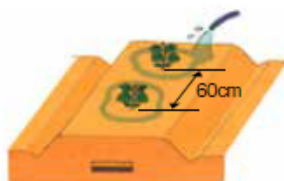
第1回
蔓の長さ50~60cmのとき、畝の両側に化成肥料を施す

第2回
果実が湯飲み茶碗大のころ、株間のところどころに化成肥料を少しばらまく

〈一株当たり〉
化成肥料:
大さじ2杯



3 植えつけ



植えつけた後、株のまわりにたっぷり水を与える



生育初期の保温と害虫防除に役立つ。頂部は切り取り、換気孔をつくっておく(育つにつれ大きくする)

6 人工授粉

雄ずい(おしべ)を爪の上などに軽く擦りつけ花粉が出ることを確認してから雌花の柱頭(めしべ)に花粉を軽くなすりつける



7 収穫

開花後45~50日たって果実が成熟し、爪がたてにくいくらいに硬くなったときを見計らって収穫する。とり遅れると味を損なう

キリトリ線に沿ってお切りください